

篠山市立今田中学校  
発行日 平成29年 1月10日  
編集・発行責任者 吉竹 一 泰

## 自分の可能性を未来へ！

『新年明けましてあけましておめでとうございます』

どんなお正月を迎えましたか？お正月には、昔から伝わる色々なしきたりや習わしがあります。年末に行う大掃除、門松や松飾り、大晦日の除夜の鐘、年始の初詣、お供え餅、おせち料理、お年玉など多くの暮らしの中で息づく行いがあります。しかしながら、時代とともに私たちの暮らしの様式が様変わりしてきています。言葉としては、引き継がれていても内容は変遷してきています。

例えば、我が家では、お供え餅を今でも家で作っていますが、作り方が「きねとうす」を使うから「餅つき機」という優れたものを使うに変わっています。「餅つき」は、昔からの暮らしの上に成り立っていることは間違いありません。私たちにとって、地域にある伝統文化を後生に伝えるという役目も担っているのですから、機会があるごとに学んでほしいと願っています。

さて、この1月には年の初めということもあり、「新」「祝」「初」「開」などにまつわる行いや行事が数多くあります。中でも1月11日は、「鏡開き」の日とされています。

もともとは、新年の仕事や行事を始めるに当たっての儀式の一つです。「鏡」は、大昔には銅で作られ、形が丸いことから円満を意味するとされ、お正月にお供えする丸い餅を「鏡餅」と呼んだのです。また「開く」とは、末広がり、すなわち発展を意味し、どちらもめでたい意味を持つ言葉なのです。

昔には、鏡餅を供え、正月11日にこれらを割って食べるという習慣があり、これを「鏡開き」といいました。現在では、家庭や職場で年の初めに鏡餅を供え、一年の健康と幸福、発展を祝って供えた鏡餅を割ってお雑煮などにして食べる「鏡開き」が正月の行事として受け継がれています。

「鏡開き」と同じ意味を持つ言葉として、農家では「鋤入れ」と言って、門松の松や鏡餅の一部を持って田畑に行き、儀礼的に土に鋤を入れて豊作をお祈りする風習がありました。いずれにしても、ほんのひととき仕事を休んで新しい年を迎えた正月からいよいよ新年の仕事始めるに当たって、その一年の健康や幸福、発展を祈願する習わしなのです。

学校も新年を迎えました。生徒たち一人一人が、新年を迎えての新たな目標を掲げ、その目標に向かって一人一人が努力を重ね、工夫を凝らして成長してくれることを、集団としての学級活動や学年活動、部活動や係活動、生徒会活動、学校行事など様々な取組を通してこの新しい一年、健康で幸福に新たな成長が出来ることを祈って、心の「鏡開き」としましょう。

**保護者の皆様、地域の皆様**

新年明けましておめでとうございます

生徒たちの成長を願い、学校は学習はもとより様々な体験活動などを行っていきます。

生徒たちの学力はもとより、心の育成や社会性の伸長などが図れるように教職員一同、一丸となって取り組んでまいります。しかしながら、情報化や核家族化の進む社会において、生徒たちをよりよく育むためには、家庭・地域・関係機関・学校の四者が連携を図ることがより重要です。

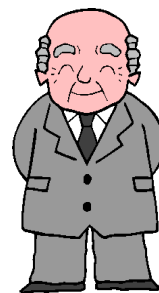
より一層のご支援とご協力、ご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

# 【1月の行事予定】

- 1月 1日(日) 元旦 今田元旦マラソン大会  
9日(月) 祝日「成人の日」  
10日(火) 3学期始業式  
新春席上揮毫大会  
11日(水) 課題(実力)テスト  
給食開始  
12日(木) 1年生スキー学校前健康診断  
職員交通立番(2班)  
16日(月)・17日(火) 3年生個人懇談会(希望者)  
16日(月) 3年生がんばりタイム 安全点検の日  
17日(火) 1・17防災講話  
19日(木) 生徒会委員会  
22日(日)～24日(火) 1年生スキー学校  
23日(月) 3年生がんばりタイム  
25日(水) 1年生振替休業日  
26日(木) 職員交通立番(2班)  
30日(月) (県指定研究) 道徳教育研究発表会  
全校朝会
- 2月 1日(水) 生徒会専門部委員長選挙  
3日(金) 公立推薦・特色選抜願書受付(～7日)  
6日(月) 全校集会  
3年生がんばりタイム(最終回)  
8日(水) 第4回学校地域運営協議会  
10日(金) 私立高校入試

## 【PTA関係】

- 1月19日(木) 交通立番  
1月20日(金) 常任委員会  
2月24日(金) 合同委員会



正月の風物詩となった「今田元旦マラソン」が立杭地区を中心としたコースで行われました。今田中学校の生徒たちも運営のボランティアとして、選手として大会に参加をし大会を盛り上げてくれました。良い表情で頑張っている姿が輝いていました。

また、特別参加の西脇工業高校陸上部の選手たちの動きや姿勢などを見ていると、「全国で勝つためには何が必要なのか」を常に考え、意識して活動いることが伺え、改めて西工のすばらしさを感じました。陸上部としての練習以外に「人としての人づくり」の大切さを学ぶことができました。参加した今田中学生にも伝わったと感じています。

1995年(平成7)年の1月17日午前5時46分に、兵庫県淡路島を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、兵庫県を中心に近畿地方が被災し、死者6400人以上、負傷者4万人以上にのぼった「阪神・淡路大震災」が発生しました。また、この阪神・淡路大震災では、学生を中心としたボランティア活動が活発化し、「日本のボランティア元年」と言われるようになりました。

そこで、1月17日が「防災とボランティアの日」と定められました。そして、この日を中心に関前後3日を含む計7日(1月15日～21日)を「防災ボランティア週間」と定めています。

「備えあれば憂いなし」という言葉があります。「普段しっかりと準備をしていれば、万一の事態が起こったとしても心配ない」ということです。



また、阪神・淡路大震災での教訓を基とした「お互いを思いやる実行力」「お互いに支え合う行動力」などを身につけることが必要不可欠であるといえます。

阪神・淡路大震災(1.17)以降、東北大震災(2011.3.11)熊本地震(2016.4.14)など多くの地震が起こり豪雨などの自然災害に見舞われています。

未来を担っていく子どもたちを育成するためにも過去の教訓を伝え、子どもたちが社会の発展に貢献できる力を益々培っていかねばならないと思います。